

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】D-2

申請日	2022/6/24	承認日	委員長	印
レジメン登録	2022/6/28	仮承認日	承認者	印

CDDP+放射線併用	病名	口腔癌	歯科口腔外科	提出医	Dr
対象	局所進行頭頸部癌もしくは頭頸部癌術後放射線化学療法として				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																			
			1	5	10	15	20	25	30													
シスプラチン	100mg/m ²	div	○																			
放射線治療			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース
 3コースまで
 放射線外照射と併用(2Gy/Day 全70Gy 分割は放射線科の計画による)

【投与処方例(前投薬など)】CVポートもしくはCVカテを推奨。末梢の点滴でも可能だが血管痛と予定時間より遅れる場合あり。

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、シスプラチンの投与量を変更すること

- 1) 血清Cr1.5mg/dl以上もしくはCcr40mL/min以下が出現した場合:シスプラチンは中止
- 2) 血清Cr1.5mg/dl未満もしくはCcr40~50mL/minとなった場合:シスプラチンは60mg/m²
- 3) Ccr50~60mL/minとなった場合:シスプラチンは80mg/m²

*副作用の出現により、以下のようにシスプラチンの投与量を変更すること

- 1) Grade4の骨髄抑制、FNの場合:シスプラチンは100→80mg/m²もしくは80→60mg/m²
- 2) Geade3の神経毒性・難聴の場合:シスプラチンは中止
- 3) Grade2の神経毒性・難聴の場合:シスプラチンは60mg/m²

【開始基準】

白血球数:2500/mm³、血小板数:10万/mm³、血清Cr1.5mg/dl未満またはクレアチニンクリアランスが50mL/minを超える
感染の徴候がない

Day1～5は、体重測定を実施。1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施し、必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

day1

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】ラクテック500mL /div 3時間
- ③ メイン【赤-2】生理食塩液100mL+ホスアピレピタント1V+パロノセトロン1V+デキサート12mg /div 30分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液50mL /div 10分
- ⑤ メイン【赤-4】ソリタT1 500mL+硫酸マグネシウム8mL(=8mEq) /div 1時間
- ⑥ メイン【赤-5】20%マンニトール注射液 300mL /div 全開(15分)
- ⑦ メイン【赤-6】生理食塩液500mL+シスプラチン /div 2時間
- ⑧ メイン【白-1】ラクテック500mL /div 3時間
- ⑨ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑩ メイン【白-2】ラクテック500mL /div 3時間

day2.3

- ① 生理食塩液100mL+デキサート8mg+プリンペラン10mg /div 30分
- ② ラクテック500mL /div 3時間
- ③ ヴィーンD 500mL /div 3時間
- ④ プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑤ ラクテック500mL /div 3時間

day4

- ① 生理食塩液100mL+デキサート8mg+プリンペラン注射液10mg /div 30分
- ② ヴィーンD 500mL /div 2時間

制吐剤については以下のようにする

DMがない場合 制吐剤セット処方⑮

Day1～6 オランザピン(5mg) 1錠 分1(朝食後)

DMがある場合はオランザピン禁忌、下記を代替薬 制吐剤セット⑳

Day1～4 コントミン糖衣錠(12.5mg) 2錠 分2 朝・夕食後

Day1～6 ワイパックス(0.5mg) 3錠 分3(毎食後)

参考資料: 1) Zenda S,et al.: Feasibility study of single agent Cisplatin and concurrent radiotherapy in Japanese patients with squamous cell carcinoma of the head and neck:preliminary results.

Jpn J Clin Oncol.2007;(10):725-9.

当院患者治療目的以外は
使用不可